

そらべつ議会だより



壮瞥小学校 運動会

■ 第2回定例会のあらまし	2
■ 一般質問	4
■ 薫風	6

No.82

□2021年8月□



壮瞥町議会
ホームページ



壮瞥町議会
YouTube



壮瞥町議会
facebook

発行 / 壮瞥町議会

編集 / 議会広報特別委員会

(TEL 66-2121・FAX 66-7001)

ワクチンの集団接種の体制と交通手段を確保!!

令和3年第2回定例会は、6月17日から18日までの2日間の会期で開催されました。2名の議員が一般質問を行い、町政を質しました。令和3年度一般会計補正予算についてのほか、議案12件、意見案1件を審議し、それぞれ可決しました。

第2回臨時会

第2回臨時会は、4月8日に開催され、一般会計補正予算について他全4件を審議し、可決されました。

令和3年度壮瞥町一般会計補正予算(第2号)について
2,143万3千円追加
補正後の予算総額
38億7,300万円

壮瞥町農業ICT活用推進協議会補助金
60万3千円追加

質疑
令和2年度から取り組んでいる事業であるが、令和3年度当初から予算化しなかった理由は。

答弁

令和3年度の活動に関して、本年2月の検討会で決まったため

新型コロナウイルス感染症衛生対策費
723万円追加

集団接種の問診に従事する保健師の配置やワクチン管理、接種を担う医療機関の接種体制の維持確保、高齢者等の被接種者の集団接種会場までの交通手段確保等に要する経費を計上しました。

第2回定例会

固定資産評価審査委員会委員の選任について

藤盛 元氏を委員に選任することに同意しました。

令和3年度壮瞥町一般会計補正予算(第5号)について
1,051万6千円減額

1,051万6千円減額

補正後の予算総額
38億7,544万7千円

仲洞爺野営場公衆便所建替工事
2,900万円減額

本年度予定していた北海道の補助金が設計委託分のみが対象となり、建替工事分は対象外となったことから、本年度は設計のみ行い、工事を次年度以降に実施することとなりました。

幸内地区地すべり防止区域点検調査業務委託経費
18万7千円追加

質疑
これまで北海道が行っていた業務の一部を本町が受託することだが、受託する業務の具体的な内容について、また、現状と今後の見通しについて。

答弁

長流川の南側の幸内地区で、平



第2回定例会の様子

成15年から28年にかけて、北海道が地すべり対策工事を行い、平成29年から4年間、現地の経過観察維持管理を行っていたが、対象区域での変異がないとの判断から、道の要領の規定により、本町に維持管理業務の一部が移管された。業務内容は、年2回、春と秋に現地の状況を目視により点検、確認を行うものである。

蟠溪地区温泉管移設工事
60万円追加

蟠溪地区温泉管移設その2工事
100万円追加

質疑

提案理由説明では、施工の際に配管等が予定していた形状と違い、

設計変更が必要になったとのことだが、配管の形状が違っていった理由は何か。

答弁

今回の工事は、国道453号の下に埋設されている温泉管を移設するもので、平成4年に実施した配管敷設工事の際に作成した配管図を元に工事設計を行った。

マンホールの位置や深さなど地上から確認できる部分は元の図面どおりであることを確認した上で設計したが、工事に着手したところ地下の配管が図面と異なっていることが判明した。

図面と異なった原因は不明だが、平成4年当時と道路の形状が異なっていることなどが原因として考えられる。



壮瞥小学校 交通安全教室

蟠溪組合泉源ポンプ等入替工事

55万円追加

質疑

ポンプ能力の低下により自噴した熱湯が周辺に悪影響を与えてい

るとのことだが、どのような悪影響なのか。また、ポンプ入替による改善の具体的内容は。

答弁

能力低下によりポンプが汲める量が減っているため、自噴する泉源から溢れ出る温泉量が多くなり、泉源を囲う木枠が湯気と熱で腐ってとれてしまったことで、湯気が更に広がりやすくなり、周辺の住民から苦情があった。ポンプの入れ替えと木枠の修繕により自噴量や湯気を抑えることができる。

除雪機械等購入費

715万円追加

質疑

委託業者所有の凍結防止剤散布機が老朽化により使用できなくなったため、町が車載式小型凍結防

止剤散布機を購入して委託業者に貸与し砂まき業務を継続することだが、これにより業務委託費も軽減されるとの説明があったが、どの程度のコストダウンになるのか。

答弁

委託業務の設計金額については、これまで機械損料を経費として算定していたが、町が散布機を貸与する方式になると年間50万円程度の経費節減になるものと試算している。

意見書

・林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
1件の意見書を採択しました。

工事発注状況

令和3年2月から令和3年5月まで

()内は予定価格

- ・仲洞爺団地外構整備工事
12,320,000円(12,683,000円)
道栄建設(株)
- ・壮瞥中学校校長公宅環境整備工
1,298,000円(1,298,000円)
壮建興業(株)
- ・町道昭和新山線道路補修工
1,254,000円(1,287,000円)
壮建興業(株)
- ・町道昭和新山線道路補修工(標識工)
1,166,000円(1,188,000円)
壮建興業(株)
- ・蟠溪地区温泉管移設工事
20,614,000円(21,701,900円)
(有)堀口水道
- ・仲洞爺野営場管理棟整備工事
13,530,000円(13,805,000円)
(株)中山工務店
- ・町道昭和新山線道路補修工その2
2,244,000円(2,255,000円)
壮建興業(株)
- ・国道453号水道施設移設工事
21,670,000円(22,572,000円)
(有)堀口水道
- ・蟠溪地区温泉管移設その2工事
2,475,000円(2,534,400円)
(有)堀口水道
- ・水道メーター器取替工事
1,584,000円(1,639,000円)
増井電機商会
- ・仲洞爺処理施設回分槽水位計改修工事
2,541,000円(2,706,000円)
水ingエンジニアリング(株)北海道支店
- ・町道関内蟠溪線仮設信号機等設置工
2,266,000円(2,354,000円)
壮建興業(株)
- ・町道道路照明灯具取替工事
1,870,000円(1,925,000円)
(株)堀口電気商会
- ・街路灯具取替工事
1,991,000円(2,024,000円)
(株)堀口電気商会
- ・森と木の里センター天体ドーム修繕工
1,551,000円(1,595,000円)
(株)中山工務店



〔町学校施設長寿命化計画と久保内小の休校措置〕

Q 中学校建設の取り組み状況は

A 効率的な整備を基本に
全体の配置を



佐藤 志

る。

議員

やむを得ない理由が認められ、現在整備に向けての検討内容と事業計画策定はいつまでに。

● 中学校校舎

建築計画は

議員

教育委員会は3月、町のホームページで「町学校施設長寿命化計画」を公表したが、この計画策定の経緯と目的は。

町長

平成27年3月、文部科学省から32年度までに策定指示があり、これまでの検討過程を踏まえ、児童生徒の望ましい教育環境整備について策定公表した。

生涯学習課長

中学校統合後に学校施設建設に対する補助事業採択の前提条件として、学校施設長寿命化計画の策定が必須条件で、これまでの町長部局での検討過程を踏まえ、その主旨を事務局でま

め策定公表した。

議員

統合6年以内の建設は有利な財源措置があると聞くがその内容は。

町長

学校統合による新增築活用は6年程度で、これまでの経緯と検討事項を説明「やむを得ない理由の対象」との回答があり、現在整備に向けて検討している。

生涯学習課長

道教育委員会を通して協議し、
①有珠山の火山活動にかかる防災マップに依拠した安全で安心な教育環境づくりと避難所活用
の調整をはじめ、児童数激減による小学校のあり方。
②財政運営の取り組みの現状とその努力による収支改善等であ

生涯学習課長

第2期定住促進・公共施設有効活用計画に基づき、町の将来を見据えて、効率的な整備を基本に校舎・体育館等、整備全般の配置について検討、年度内を目途に進めている。

● 久保内小学校の休校措置は

休校措置は

議員

久保内小学校は休校措置として3年目を迎えているが、この休校措置はいつまでと考え、再開の場合の条件は。

町長

児童数が激減、保護者・地域と慎重に検討を重ね、理解を得て休校措置とした。
現在5名の通学者が3年後に

は12名と推計している。

新たな企業立地による児童数の推移を見据え、保護者・地域の意向等、十分に認識し判断したい。

議員

道内の休校措置校数、小・中学校各1校の市町村数、休校措置後の再開の状況は。

生涯学習課長

休校措置は小学校6校、中学校の全体で10校。
小・中各1校は2市37町8村の全体で47市町村。
休校措置からの再開は、中学校2校で、再開後1校は再度休校している。



壮瞥小学校 入学式

いっぱん

〔新型コロナワクチン接種の現状と課題について〕

Q 今後の接種見通しは

A 11月までにすべての希望者への接種を終える



森 太郎

議員 医師や看護師等の確保における問題点と、個別接種実施の見通しは。

住民福祉課長

実践的な接種計画を

全庁的に協議しながら、早めの準備を進めたことと、そうべつ温泉病院の全面的な協力もあり、医師及び看護師、薬剤師の確保は問題なく行われた。

個別接種の実施については、同病院から協力の意向が示されており、協議中だが、これが開始されれば、接種は、さらに加速すると期待している。

議員

一般対象者、基礎疾患を有する方の接種見通しと課題は。

町長

高齢者接種の第2日程では、160人程度の空きが生じる見込みなので、優先接種対象者のうち、60歳から64歳までの接種を終了させる予定。基礎疾患を有する方や一般対象者には、6月半ばに接種券を発送した後、順次接種を開始し、11月初めま

で2回目の接種を終了させる予定である。

議員

若者への接種の働きかけと副反応等の情報発信は。

住民福祉課長

副反応に対する不安により、接種をためらう若者が多く発生していることがマスコミ等で報じられており、町広報誌等でワクチン接種の必要性と有効性、副反応に関する正確な情報を伝え、ワクチン接種が進むよう取り組む。

議員

高齢者への接種状況と副反応の実態は。

町長

第1日程では高齢対象者429人が1回目の接種を終え、2回目も6月半ばまでに完了する。副反応は、頭痛や筋肉痛など、比較的軽度で治まっている。

議員

高齢者の接種率と、後日に接種希望者が出た場合の対応は。

住民福祉課長

第2日程後の接種率を87.8%と見込んでいる。後日、接種希望者が出た場合、コロナ感染症の予防接種期間が令和4年2月28日までなので、希望者の意向、接種日程調整など、きめ細かく対応する。

議員

ワクチン管理上の課題と、ワクチンの確保の見通しは。

町長

ワクチンはそうべつ温泉病院の超低温冷凍庫で保管されており、管理上の課題は報告されていない。ワクチン確保の見通しは、需要希望に沿って、ファイザー社製のワクチンが配分される。

議員

接種形態と接種会場の課題は。

町長

ワクチン接種を迅速に進めるために集団接種方式で実施しているが、多様なニーズや意向に配慮し、個別接種、かかりつけ医等による環境を整えていくことも課題である。



壮瞥高校生による花壇整備

『魅力あるまち壮警町をアウトドアの聖地に』

そうべつアウトドアネットワーク 副会長 森下 裕至



本年2月24日に「そうべつアウトドアネットワーク」が設立され

ました。町広報誌やホームページでも紹介されておりますが、スポーツを核とした地域の自然や資源などを活用した地域活性化を目的とした官民連携による「地域スポーツコミッション」です。スポーツ庁では、第2期スポーツ基本計画で、地域資源を活用したスポーツでの地域活性化を目的とする官民連携による「地域スポーツコミッションの設置」を掲げており、壮警町でもその制度を活用し、恵まれた自然環境を生かしたアウトドアスポーツの普及や新

たな産業の創出による地域の活性化を目指したことが始まりです。

「そうべつアウトドアネットワーク」を設立するために、昨年9月に「そうべつスポーツコミッション（仮称）設立準備委員会」を立ち上げ、数多くの話し合いや道内視察、4回のアウトドア体験会、2回の講演会を開催するなど、準備を進めました。

委員会は、「壮警町」や「アウトドアスポーツ」に熱い思いを持った13名の委員と、役場の商工観光課、教育委員会で構成され、壮警町の魅力や新たな可能性などを何度も話し合いました。

道内視察では、室蘭のアウトドアイベント、十勝方面にはキャンプ場運営、ニセコ方面ではアウトドアツーリズムなどの視察を行い、

多くの方とお会いし、色々な事例と体験例を見て、大変参考となる視察となりました。

アウトドア体験会は、オロフレスキー場で秋と冬に1回ずつと、オロフレ峠登山、スノーシュー体験会を開催しました。

特に秋のオロフレスキー場での体験会では、「ツリーイング」、「Eバイク」、「火起こし体験」、「珈琲焙煎体験」、「薪割り体験」という5つの体験活動を用意したところ、子どもも大人も大いに楽しみ、時間が足りないと感じられるほどでした。

『魅力あるまち壮警町をアウトドアの聖地に』を合言葉に、まず町民の皆様が地域でより楽しむことができるように、そして、それを新たな産業創出の可能性に繋げることができるように、生まれたばかりの組織ですが、メンバーで話し合いを重ね、少しずつずつ前に進んでいきたいと思っております。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、各種活動やイベントへのご参加を心よりお待ちしております。

編集後記

北海道という名称になったのは明治2年8月に、幕末のアイヌ研究の先駆者として知られる探検家の松浦武四郎が、道名に関する意見書を政府に提出、6つの候補（北加伊道・日高見道・北海道・海島道・東北道・千島道）のうち、「北加伊道」の「加伊」を「海」と変更し、「北海道」と命名したとされ、アイヌ民族が自らの国を「加伊（カイ）」と呼んでいたことに由来するため、一番に勧めた道名だったという。

ちなみに壮警町の町名の由来もアイヌ語で「滝の川」を意味する「ソーパーツ」より転化し「壮警」となり、この滝とは、洞爺湖から壮警川が流れ出す地点にかかる「壮警滝」のことです。

このように北海道名をはじめ大半の地名等はアイヌ語が由来であるにも関わらず、アイヌ文化を知らないのが現状です。

物事の本質を極めることが難しい今だからこそ、事の始まりを知る、文化・歴史を学び、伝える事の大切さを実感します。

(T・K)